

後付けできるAI側方衝突警報システム

j21Corporation

C46 側方衝突警報システム

AIによる行動予測と高精度な対象物検知で、車両側方の死角リスクを低減

01

歩行者の行動予測



AI技術が歩行者の**移動方向を分析**し、正確なリスク識別を実現します。

カメラユニット



02

複数の対象物検知



歩行者・自転車・バイクなど複数の対象を高精度に検知します。

03

歩道識別



道路と歩道の**境界を認識**し、不要な警報を減らします。

オプション・連携機器



スクリーン



AIドラレコ

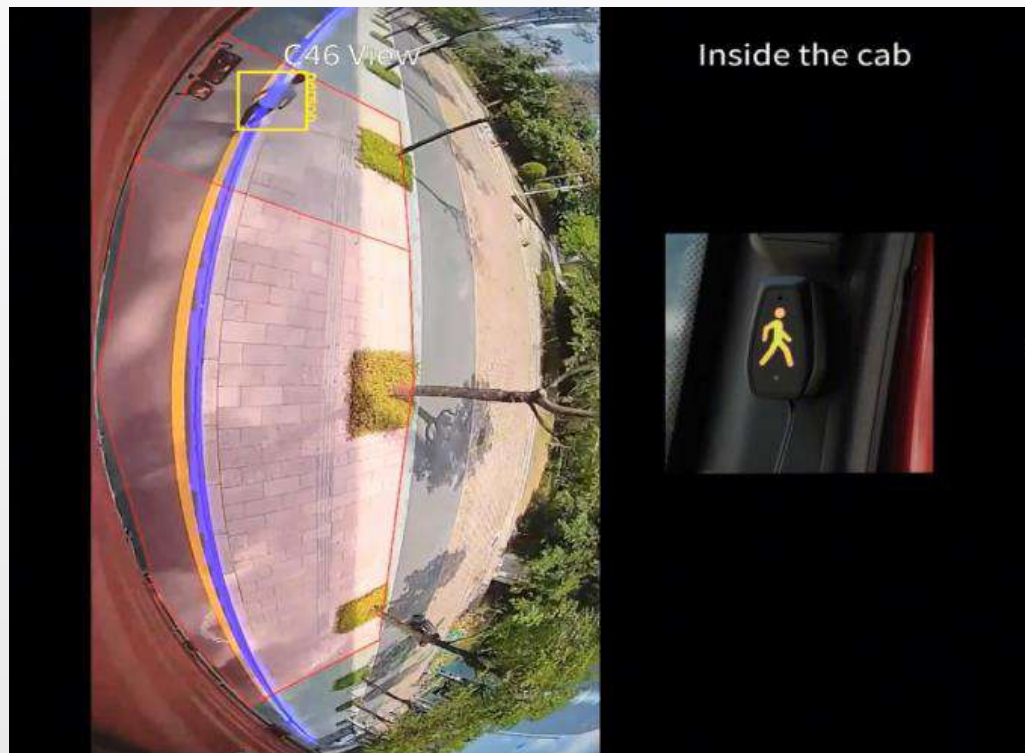
04

ブラックライト

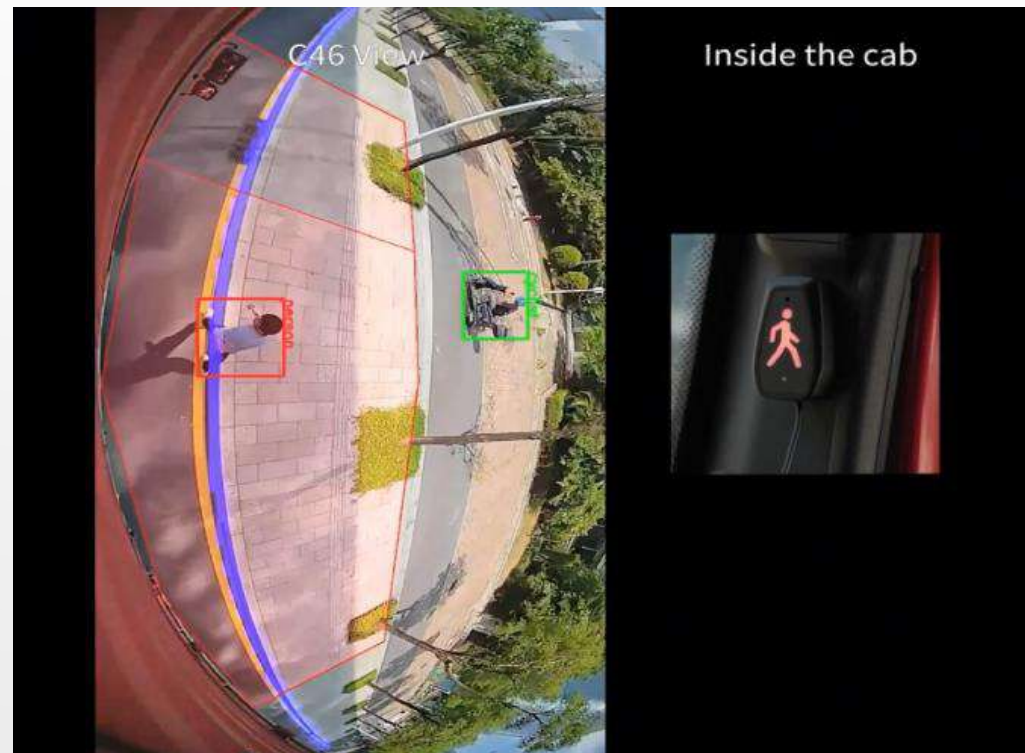


暗所走行中も**昼間同等の検知性能**で側面の死角を監視します。

警報パターン

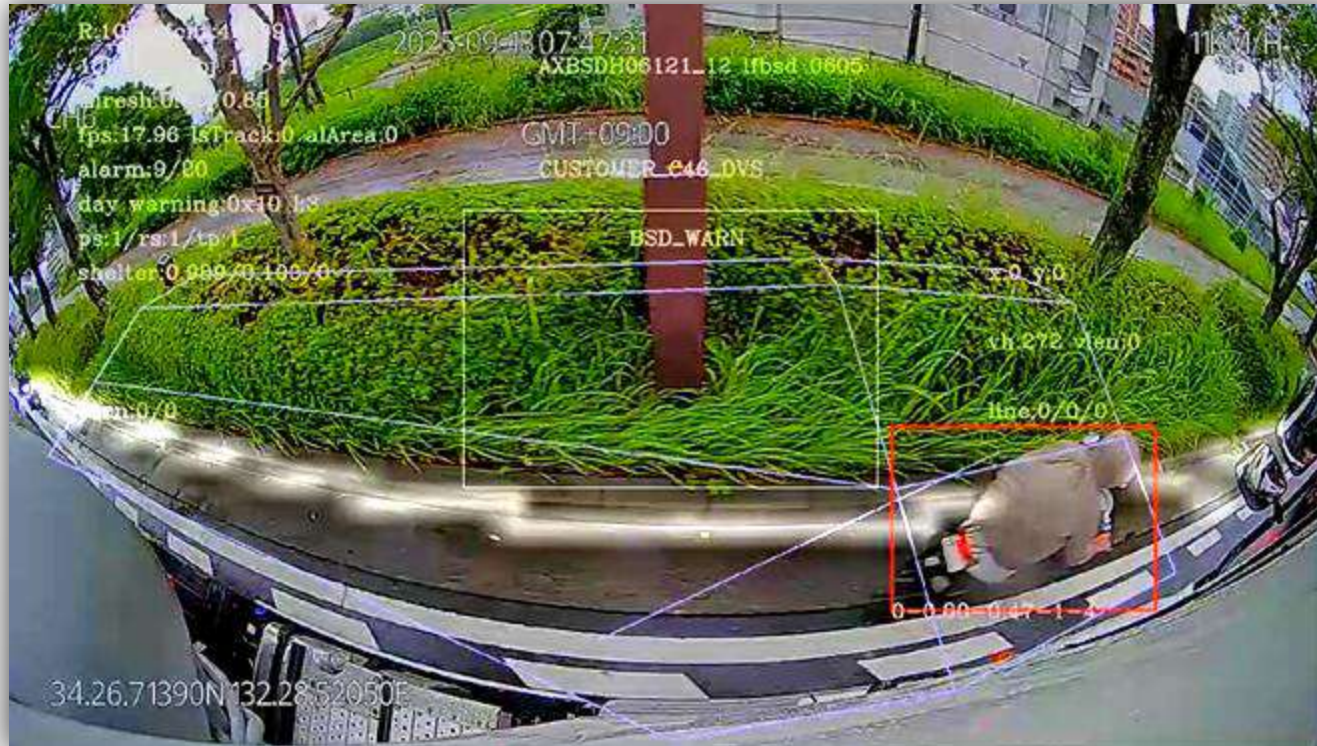


音なし・インジケーター**黄点灯**のみ



音あり・インジケーター**赤点灯** + 音

境界認識で本当に危険な時だけ警報



AIカメラが境界を認識し
不要な警報を削減

ブラックライト技術



広角カメラで広範囲をカバー

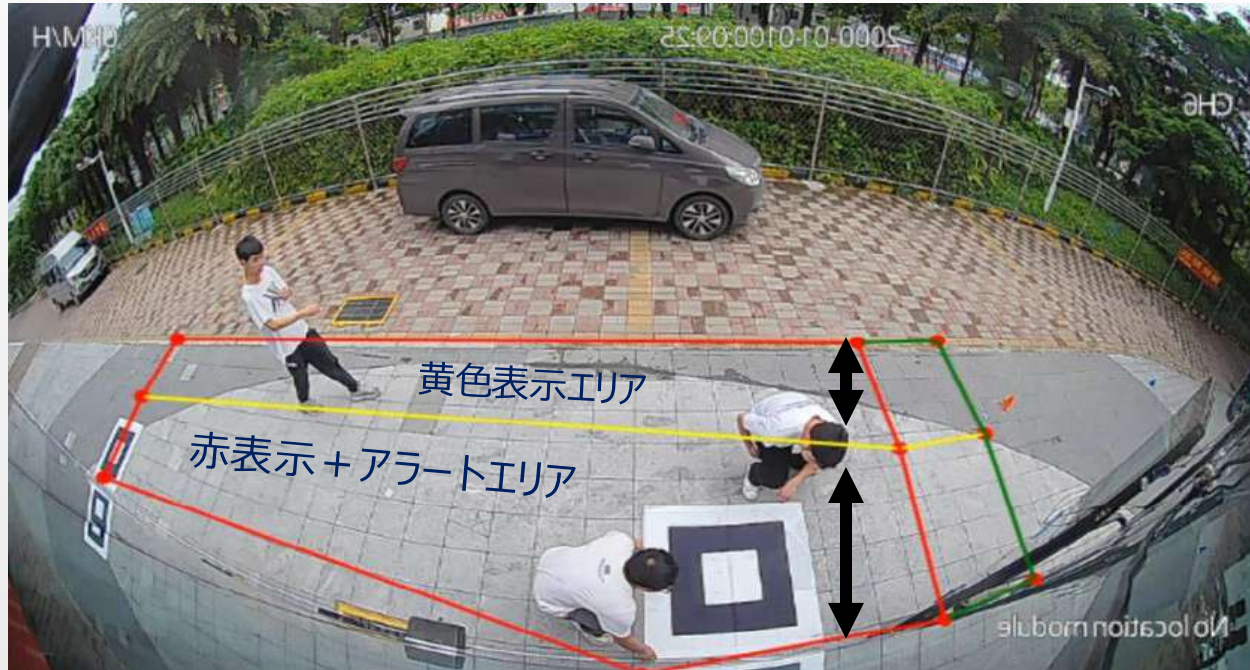


直進時



左折時

警報エリアのカスタマイズで様々な車両に対応



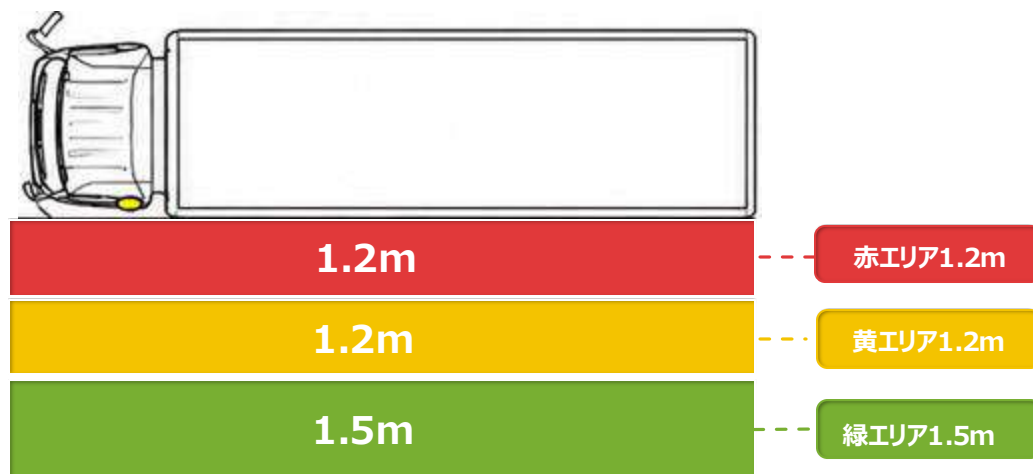
トラック・バス、その他特車
最適なエリア設定が可能



警報エリア 設定例

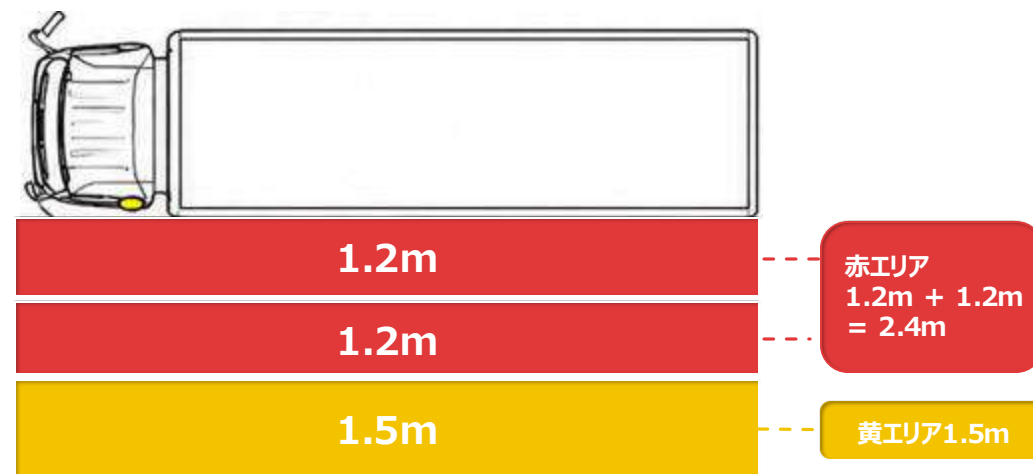
直進時

車両左側の接近物を段階的に検知します。

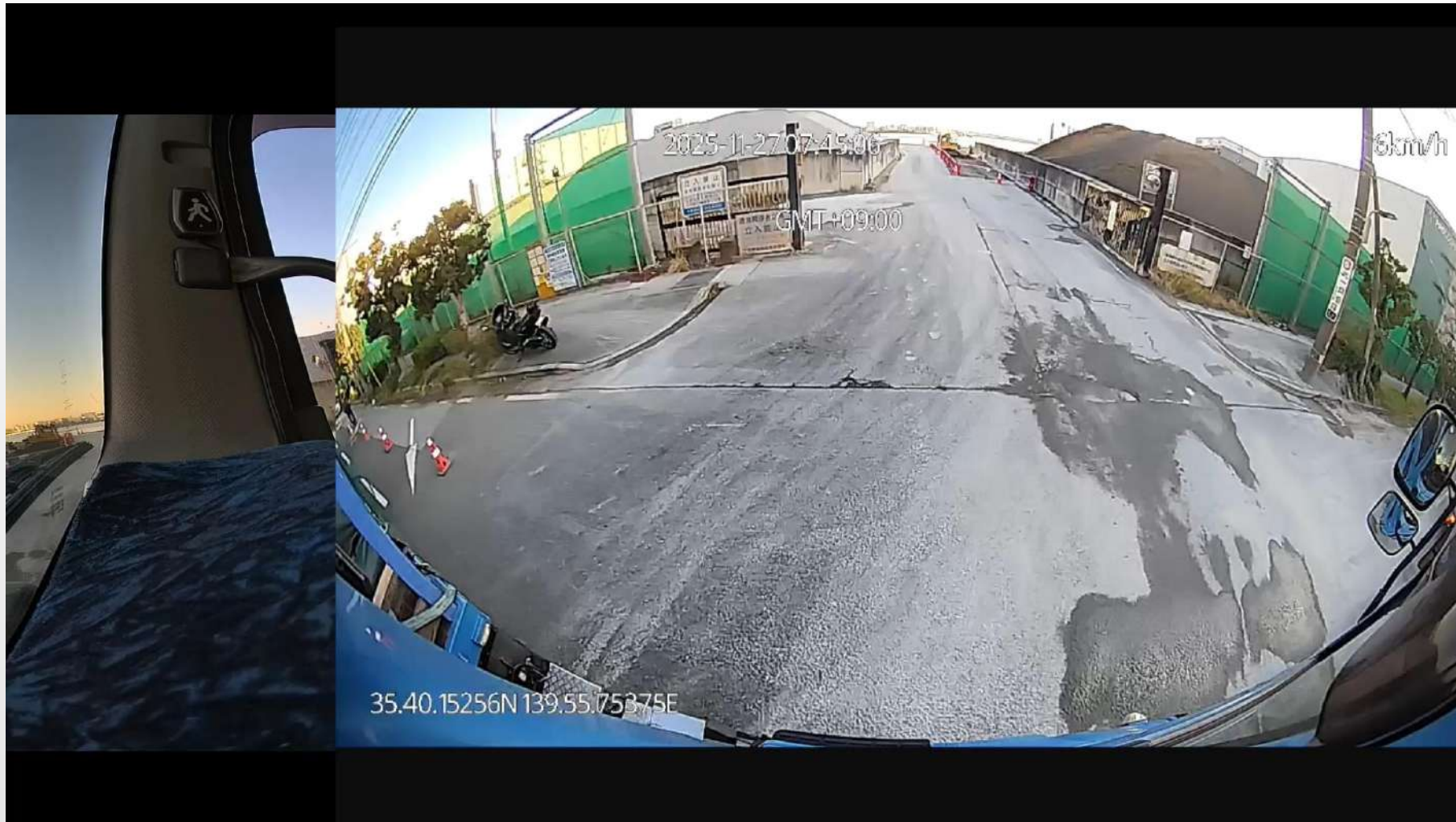


左ウinker入力時

左折動作に備えて警報エリアを広げ、巻き込みリスクへの注意喚起を強めます。



【映像】後方から自転車接近



類似製品との比較 ※J21調べ

	C46	A社	B社	C社
費用	18万+3.38万～ +工賃6万円～	35万～ +工賃	27万～ +工賃	40万～ +工賃
機能	広角/ブラックライト	広角	広角	広角
拡張性	前方、右側方増設可	×	▲	×
プラットフォーム管理	○	×	×	○
イベント映像の記録	○ SDカード/プラットフォーム	×	○	○
警報エリアの調整	○ 柔軟に可能	× (固定)	× (固定)	× (固定)

ご清聴ありがとうございました

本日の内容を、貴社の車両・運行環境にどう活かせるか。
個別にご案内いたします。

このようなご相談に対応します

-  導入可否の確認
-  概算費用のご案内
-  デモ・説明会のご相談
-  安全対策・業務改善のご提案



お問い合わせ



▶ [Webフォームはこちら](#)